

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 31日

事業所名 放課後デイサービス プレミアム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%		仕切りを使っている。	適切である。
	2	職員の配置数は適切である	100%		定められている数より多く配置している。	適切である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		100%	特になし	外階段の手すりを持ちやすくする
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%		朝ミーティング時に取り組んでいる	今後も継続して行っていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%		毎年行っている。	今後も継続して行っていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%		ホームページで公開している。	今後も継続して行っていく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%		内部監査を第三者が行っている	今後も継続して行っていく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%		年間スケジュールを組んで研修に取り組んでいる	今後も継続して行っていく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%		スタッフで話し合い作成している。	今後もスタッフ間で情報を出し合い、話し合いをして作成していく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%		使用している	支援記録などを日々つけている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%		スタッフで話し合い作成している。	ミーティング時に話し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%		スタッフで話し合い作成している。	曜日で固定されないようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%		個々に課題を決めている	今後も一人一人に合わせた内容で支援を続ける。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%		組み合わせで作成している。	今後も継続して行っていく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%		ミーティング中に確認している	今後もミーティングを行い、一日の流れを確認する。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%		翌日にミーティングで振り返りを行っている	今後も継続して行っていく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%		支援記録をつけている。	支援記録を元に改善に繋げていく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%		最低半年に一度見直しをしている。	今後も継続して行っていく
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%		様々な活動を組み合わせている。	今後も継続して行っていく	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%		参加している。	今後も継続して行っていく
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%		行っている。	今後も継続して行っていく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		100%	ケアが必要な子がいない。	医療ケアが今のところ必要な方はいませんが今後利用となれば連携体制を整えます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%		努めている。	今後も園に聞けない場合は相談支援員に話を聞くなどの対応を続けていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%		詳しく申し送りしている。	就労先に細かく特性や情報を伝えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		100%		コロナ過の為、研修には行けていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		100%		コロナ過の為、行けていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		100%	参加していない。	積極的な参加はしていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%		送迎時に伝えている。	送迎時にその日の様子や家での様子を情報共有している。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%		送迎時に伝えている。	デイ中、有効な声掛けや、接し方があった時伝えている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%		行っている。	必要な時その都度、行っていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%		日頃から努めている。	どんなことでもお話しして頂ける関係性を築き続けます
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%		以前は保護者会をしていた。	コロナ過の為行っていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%		細やかに行っている。	今後も継続して行っていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%		新聞を発行している。	毎月新聞を発行しているので今後も継続して行っていく。
	35	個人情報に十分注意している	100%		徹底している	マニュアルもあり、それに基づいて取り組んでいる。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%		配慮している	今後も継続して行っていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		100%	できていない	コロナ過の為できていない

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%		出来ている	今後も継続して行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%		行っている。	定期的に行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%		行っている。	今後も定期的に研修を行い、意識を高めていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		100%	拘束しない。	大前提として身体拘束をしない。しかし、保護者が希望しているようなことがあれば、説明をして記載する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%		行っている。	保護者からの情報にて対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%		作成している。	今後もミーティングなどで話し合いをし情報を共有していく。